

1. 生産振興方針

地域農業の課題として、少子高齢化による農業従事者の減少が深刻化してきているなか、新規就農者の受け入れや集落営農の組織化・法人化、農業管理支援、農作業支援体制の整備、さらに次世代農業を担う担い手農家の育成確保と担い手経営体の高度なニーズに対応する営農指導体制の強化などに継続して取り組み、「持続可能な農業」の生産基盤づくりに努めます。

また、未来を志向した農業生産構造への再編、農業生産の維持・拡大、SDGsの取り組み、農業所得の安定と増大などを目指して、「環境調和型農業*2」への段階的取り組みを推進します。

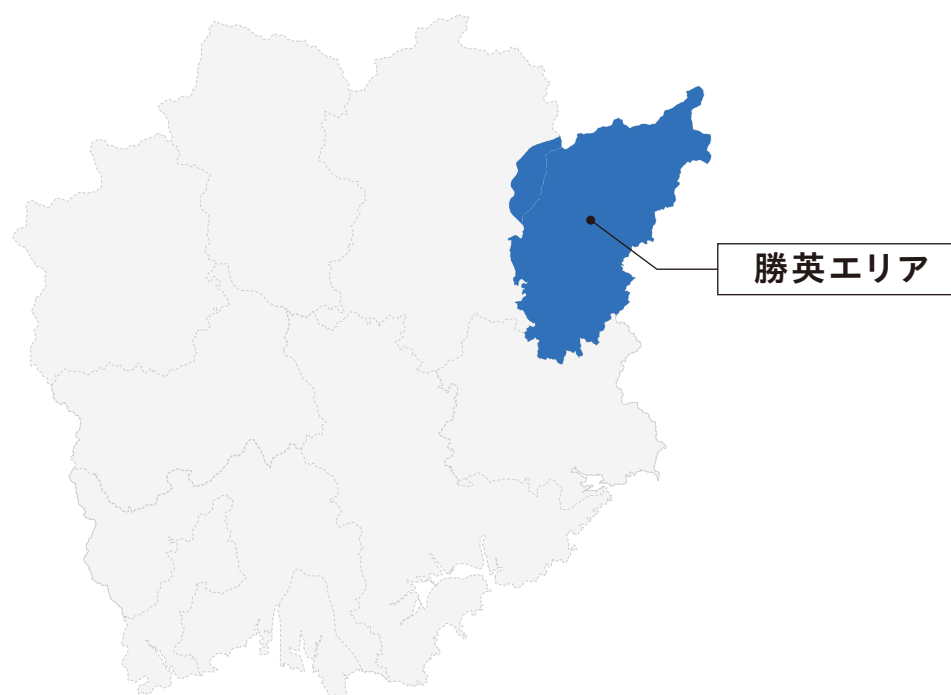
1) 販売品取扱高の目標

生産面では地域の生産者組織並びに共同の力を発揮するブランド品目の維持強化に取り組むとともに、生産意欲の高揚を図ります。また、販売面においては、ブランド品目の消費地へ向けたPR活動の戦略を「産地の顔の見える化」とし、生産農家の積極的参加を呼びかけます。

この生産と販売が一貫したブランド力向上対策の展開並びに販売促進活動の推進強化の取り組みにより、目標達成を目指します。

(単位：千円)

品 目	実 績	目 標		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
米	1,333,360	1,338,700	1,340,500	1,340,500
麦・豆・雑穀	97,243	122,800	123,000	123,000
野 菜	101,876	110,160	125,000	130,000
果 実	138,887	150,900	160,000	165,000
花 き・花 木	2,065	2,500	2,500	2,500
畜 産	1,586,990	1,600,000	1,600,000	1,600,000
そ の 他	9,435	9,800	9,800	9,800
合 計	3,269,856	3,334,860	3,360,800	3,370,800



2) 米集荷の目標

地域の特色を生かした米の販売ロット拡大による有利販売を目指し、推奨品種「コシヒカリ」「あきたこまち」「きぬむすめ」への集約に取り組みます。また、気象や消費者ニーズの変化をふまえて、新たな品種「にじのきらめき」の栽培推進に取り組みます。

地域循環環境保全型事業としての「里海米」にマッチングさせた、勝英ブランドの生産拡大への誘導による「農業所得の増大」を図ります。

(単位：俵)

品 種 ・ 銘 柄		実 績	目 標			
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
主食用米	コシヒカリ	18,011.5	20,000.0	20,000.0	20,000.0	
	あきたこまち	18,058.5	17,500.0	17,000.0	16,500.0	
	きぬむすめ	9,148.5	10,000.0	9,500.0	9,000.0	
	ヒノヒカリ	63.5	-	-	-	
	朝 日	3.0	-	-	-	
	にじのきらめき	6,087.0	20,000.0	23,000.0	26,000.0	
	も ち 米	1,055.5	1,000.0	1,000.0	1,000.0	
	酒造好適米	3,782.0	3,800.0	3,800.0	3,800.0	
	その他主食用米	1,555.5	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
水田活用米穀		13,139.1	6,900.0	5,400.0	3,900.0	
合 計		70,904.1	80,400.0	80,900.0	81,400.0	
(うち里海米)		6,089.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	

※水田活用米穀とは「飼料用米」「米粉用米」「加工用米」「新市場開拓用米」を指す。

3) 麦・大豆集荷の目標

水田のフル活用に重要かつ食料自給率・自給力の向上に資する作物として、経営所得安定対策を活用し、需給に応じた作付け推進を図ります。

特に黒大豆は「作州黒」ブランドを活かし、地域と一体となって、さらなる外延的拡大を目指した生産振興に取り組みます。

(単位：t)

品 目		実 績	目 標			
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
大	麦	21.0	18.0	18.0	18.0	
小	麦	3.4	3.0	3.0	3.0	
裸	麦	16.5	14.0	14.0	14.0	
白	大 豆	3.6	3.0	3.0	3.0	
黒	大 豆	65.0	100.0	120.0	150.0	



4) 園芸重点品目（野菜・花き）振興の目標

アスパラガス・白ねぎを主体に、新品種の導入並びに品質向上に資するための実証試験及び、実体験による研修を通して担当者のスキルアップを図る各種展示圃の設置などに取り組み、地域全体の生産意欲高揚と「園芸重点振興品目」の生産振興につなげます。

①生産面積

(単位:ha)

品 目		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
野 菜	キ ュ ウ リ	1.0	1.1	1.2	1.3
	ナ ス	0.1	0.1	0.1	0.1
	ア ス パ ラ ガ ス	5.4	5.6	5.8	6.0
	白 ネ ギ	5.0	5.5	6.0	6.5
花 き	リ ン ド ウ	0.2	0.2	0.2	0.2

②販売品取扱高

(単位:千円)

品 目		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
野 菜	キ ュ ウ リ	18,298	20,000	22,000	24,000
	ナ ス	16	50	50	50
	ア ス パ ラ ガ ス	33,383	45,000	50,000	55,000
	白 ネ ギ	10,599	13,000	15,000	17,000
花 き	リ ン ド ウ	1,601	2,000	2,000	2,000



5) 園芸重点品目（果実）振興の目標

「園芸重点振興品目」に位置づけられているモモ・ブドウについて、品種の特性や消費者ニーズをふまえて、地域の特色を活かした生産振興に取り組みます。

①生産面積

(単位:ha)

品 目		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
モ	モ	18.5	18.5	18.6	18.7
ブ	ド ウ	24.3	25.1	25.4	25.9
ブドウ 品種別	ピ オ ー ネ	10.0	10.3	10.4	10.5
	シャインマスカット	9.0	9.3	9.3	9.4
	瀬戸ジャイアンツ	1.0	1.0	1.0	1.0
	オーロラブラック	2.3	2.4	2.5	2.6
	紫 苑	0.5	0.5	0.5	0.5
	そ の 他 ブ ド ウ	1.5	1.6	1.7	1.9

②販売品取扱高

(単位:千円)

品 目		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
モ	モ	30,544	33,000	35,000	36,000
ブ	ド ウ	98,943	106,600	111,800	115,500
ブドウ 品種別	ピ オ ー ネ	27,025	30,000	33,000	35,000
	シャインマスカット	61,412	65,000	66,000	67,000
	瀬戸ジャイアンツ	2,426	2,500	2,500	2,500
	オーロラブラック	3,041	3,100	3,800	4,000
	そ の 他 ブ ド ウ	5,039	6,000	6,500	7,000

6) 畜産振興の目標

肉用牛は、地域ブランド「奈義ビーフ」の産地維持に向けて生産農家と一体となり消費者に見えるPR活動を展開し、知名度アップによる有利販売につなげます。

子牛については、小規模和牛繁殖農家の飼育規模の拡大推進により、「四ツ☆子牛」の安定生産に努めます。また、ET技術により優良系統牛の生産に努めます。

①生産頭数

(単位:頭)

畜 種		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
肉	牛	1,232	1,230	1,230	1,230
子	牛	392	400	400	400

②販売品取扱高

(単位:千円)

畜 種		実 績	目 標		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
肉	牛	1,162,980	1,200,000	1,200,000	1,200,000
子	牛	246,999	250,000	250,000	250,000
そ の 他 畜 産		177,011	150,000	150,000	150,000

7) 地域特産品目振興の目標

地域色を活かして特産的に生産される「黒大豆」を、地域特産品目「作州黒」と位置づけて生産振興を図ります。

同時に、「黒大豆」の枝豆としての取り組みについて、岡山県育成品種「岡山SYB1号」と従来の「作州黒」の組み合わせによるリレー出荷及び作業の分散化をすすめ、農業所得の増大を図ります。

①生産面積

(単位:ha)

品 目	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
黒 大 豆	400.0	400.0	400.0	400.0	
黒 枝 豆	16.0	20.0	22.0	25.0	
作 州 栗	10.0	11.0	12.0	13.0	

②販売品取扱高

(単位:千円)

品 目	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
黒 大 豆	76,343	90,000	90,000	90,000	
黒 枝 豆	22,779	25,000	26,000	28,000	
作 州 栗	8,155	9,000	10,000	11,000	

8) 契約・加工用品目振興の目標

業務用、加工用の契約栽培農産物は遊休地等を活用する取り組み品目として、取引価格の事前交渉により販売価格の安定化を図りつつ、作付け拡大を推進します。

①販売品取扱高

(単位:千円)

品 目	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
カ ブ	9,470	10,000	10,000	10,000	



2. 担い手及び新規就農者の育成支援

農業の維持継続や担い手農家の規模拡大を支援する仕組みの検討をすすめ、耕作地の維持拡大を図ります。また、次代の地域農業の担い手確保に向けて、関係機関並びに生産者組織と連携して農業経営の確立を図るための制度活用や就農などの支援に取り組みます。

① 認定農業者数の目標

(単位：経営体)

市 町 名	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
津 山 市	3	3	4	4	
美 作 市	95	96	97	98	
勝 央 町	66	67	68	69	
奈 義 町	56	57	57	58	
西 栗 倉 村	10	10	11	11	
合 計	230	233	237	240	

② - (1) 集落営農組合数の目標

(単位：経営体)

市 町 名	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
津 山 市	9	9	9	9	
美 作 市	14	15	15	15	
勝 央 町	4	4	5	5	
奈 義 町	1	1	1	1	
西 栗 倉 村	1	1	1	1	
合 計	29	30	31	31	

② - (2) 集落営農法人数の目標

(単位：経営体)

市 町 名	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
津 山 市	2	2	2	2	
美 作 市	4	4	4	4	
勝 央 町	1	1	1	1	
奈 義 町	11	11	11	11	
合 計	18	18	18	18	

③ 新規就農者数の目標 (単年度)

(単位：経営体)

市 町 名	実 績	目 標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
津 山 市	-	1	1	1	
美 作 市	4	5	5	5	
勝 央 町	3	3	3	3	
奈 義 町	1	2	2	2	
西 栗 倉 村	-	1	1	1	
合 計	8	12	12	12	